

平成 29 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	I 類 A事業所のみを有する特定事業者
	II 類 B事業所を有する特定事業者 (III 類の事業者を除く)
	III 類 C事業所を有する特定事業者
	IV 類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社モスフードサービス	
所在地	東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower 4階	
事業者番号	2028	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	2,000	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)		m ²
産業分類名 (中分類)	飲食店	
分類番号 (中分類)	76	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	事業内容：フランチャイズチェーンによるハンバー ガー専門店「モスバーガー」の全国展開・そ の他飲食事業など 従業員数：1335名 資本金：114億1284万円	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	モスバーガー	

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	202800	モスバーガー川越山田店	2,000
B、C事業所			
合計			2,000

(4) 公表方法

○	インターネット利用による公表	アドレス	http://www.mos.co.jp/company/social_activity/environment/influence/pdf/pdf_influence_02.pdf
	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	CSR推進室 社会環境グループ	03-5487-7344		
2				
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

〈環境行動指針〉

私たちは、持続可能な社会を次の世代に残すため、事業活動全体において地球温暖化抑止策に以下の通り取り組みます。

・省エネルギーと資源の有効利用活動「3Rーリデュース、リユース、リサイクル」を推進します。

〈中期環境行動計画〉

1. グループ全体の環境マネジメントシステムの充実

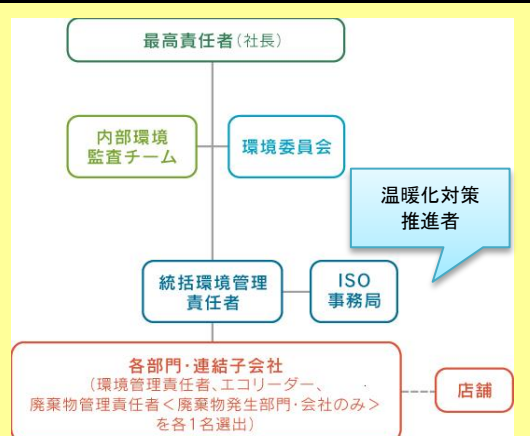
- ①環境マネジメントシステム全体を再点検し、業務改善を図ります。
- ②本部機能を最大限に活用し、チェーン全体の環境影響改善に努めます。

2. 環境目標数値

- ①エネルギー使用量 毎年前年比1%削減（売上100万円あたり）
- ②食品リサイクル 再生利用等実施率 48.5%

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制

ISO14001組織における省エネルギー推進体制に準じる。



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO ₂	4,051	3,990			
その他ガス					
温室効果ガスの合計	4,051	3,990			

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 29 年度

事業者番号	2028	事業所番号	202800
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
-------	------------------------------------

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	モスバーガー川越山田店	前年度における事業所数	75
代表事業所所在地	市区町村	川越市	
	字・地番	山田1733-1	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	飲食店		
分類番号(中分類)	76		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容:フランチャイズチェーンによる ハンバーガー専門店「モスバーガー」の全国展開	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	21年度実績を基準(4287t-CO ₂)とし、消費原単位(売上百万円当り)年平均1%以上の削減			
	その他ガス				

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	～		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	モスバーガー川越山田店	川越市山田1733-1
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	2,029	2,000			

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂	4,051	3,990			
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メタン				
	一酸化二窒素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六ふっ化いおう				
	三ふっ化窒素				
温室効果ガスの合計	4,051	3,990			

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	0.7978	0.8020			
活動規模の指標	生産量				
	○ 売上高 百万円	5,078	4,975		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量 (t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	省エネルギー教育 【毎年継続】	H28年度	
2	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	エネルギーデータ管理 【毎年継続】	H28年度	
3	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	設定温度の適正化 【毎年継続】	H28年度	
4	140300	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_冷凍冷蔵設備及びちゅう房設備の管理	温度管理 【毎年継続】	H28年度	
5	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	照明器具及びランプの適正な選択 【毎年継続】	H28年度	
6	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	省エネ型空調設備への入れ替え	H28年度	
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

1. ISO環境マネジメントの中で、全店での月次計測体制と集計、店舗へのフィードバックの仕組みを構築済みです。また、全店長を対象とした店長資格取得条件のための講座において、実際の店舗での省エネ事例などを学ばせています。
さらには、店舗のタイプ別にサンプル店舗を設定し、店内でのエネルギー使用状況について、全時間帯の電力計測、電力消費の割合の大きい空調機などと温度の関係を分析すること、その中からさらなる店舗での改善策を発掘し、今後も省エネ活動のためのチェーン内教育について充実させていく計画です。
2. 新規出店や改装店舗において、高効率型の空調機器やLED照明等の導入を図っていく計画です。
3. 直営店、子会社店舗をモデルに、次世代型店舗設備の研究チームを設置し、将来にわたり店舗で実現できる省エネ施策の検討を進めています。